

第4回 仙台I ソンタクラブ 東北大学大学院
女子学生海外渡航支援事業 報告書

平成 27年 10月 15日 記入

所属部局名：文学研究科
学 年：修士1年
氏 名：栗田 陽子

1. 渡航先
台湾（台北）
2. 参加国際学会等の名称
East Asian Anthropological Association (EAAA) AND Taiwan
Society for Anthropology and Ethnology (TSAE)
Multiple Landscapes of Anthropology
3. 開催期間
2015/10/3~10/4
4. 旅行期間
2015/10/2~10/5
5. 発表演題
Landscapes of Disaster and Recovery in Rural Sendai Affected
by the Great East Japan Earthquake
6. 参加した国際学会等の状況並びに感想
今回の学会には日本、中国、韓国の大学に在籍する研究者が約400名参加していた。学会全体のテーマは”Multiple Landscapes of Anthropology”であり、それぞれの研究者が自分のフィールドの事象を多角的な視点で分析した。発表の半分は英語で行われ、もう半分は中国語で行われた。議論が活発に行われ、それぞれのセッションは時間ぎりぎりまで行われた。私にとっては初めての国外での発表であり、とても緊張したが、参加者が温かい雰囲気を作ってくれたので、無事発表を終えることができた。私は発表のなかで、東日本大震災後に被災地でボランティア活動をする人々と被災者が、復興のフェーズが変

化したことにより、違う将来の風景を思い描いていると指摘した。発表後には、東日本大震災後に福島原発事故の避難者に対する支援を行う研究者と今後の復興について議論をし、私たちはいまだに震災の渦中にあることを痛感した。両日の夜に催されたレセプションでは、台湾大学からのあたたかいもてなしを受けた。

反省すべきは、英語の能力不足である。興味深いテーマの発表でも、詳細を聞き取ることができず、歯がゆい思いをした。今後の英語の学習に生かしたい。

学会とは直接関係はないが、台湾では人々がとても親切だったのが印象的である。交通機関を使った際には大きな荷物を抱えた私を、言葉は通じないものの、周囲の人が気遣ってくれたことは本当にありがたかった。

7. 本事業に対する要望等

特にありません。本当にありがとうございました。

※ この報告書は、本事業の出資団体である「仙台Iソソクラブ」への事業成果報告として提出します。

※ この報告書は、本学男女共同参画委員会ホームページに掲載します。